

共創によるまちづくりの実現に向けて

チャレンジ！！オープンガバナンス

- ▶ 人口減少・高齢化、地域社会が抱える課題
- ▶ 地域経済が抱える課題

オープンデータ利活用

- ▶ 地方公共団体・民間事業者が保有するデータ
- ▶ 膨大で多種多様な情報の相互連携

▶ 住民参加型の課題解決

- ▶ 新たな価値の創出
- ▶ 新たな製品・サービスの開発

「チャレンジ！！オープンガバナンス」

地域づくりや地域課題の解決

- ▶ 地域住民へのサービスの充実・向上
- ▶ 地域経済の活性化
- ▶ 地方創生

チャレンジ！！オープンガバナンス2016

地域
課題

1. 分かりやすい健康情報の提供による市民が主体の健康づくり
2. ごみの減量化
3. 大規模災害時における適切な支援

応募
アイデア

- 1-1. がん検診受診率向上のための情報提供の工夫
- 1-2. 地域イベント掲示板「ためマップ」で可視化、宇部にもっと元気を！
- 2-1. 市民一人ひとりによる「生ごみの水切り」でごみを減らそう！
- 3-1. ICTを使った災害対応システム
- 3-2. 災害時の情報発信と災害シュミレーション

アイデアの実用例

「がん検診受診率向上のための情報提供の工夫」にて検討された**アイデア**を、平成29年度がん検診無料クーポンの封筒デザインに**採用**し、市民へ**配布**。現在まで継続中。



チャレンジ！！オープンガバナンス2017

地域課題

地域計画の推進につながるアイデア

※地域計画における課題テーマ

「健康づくり」「子育て支援」「地域の魅力創出」「環境」「地域内交通」など

応募アイデア

1. 協働による多目的トイレ発検索アプリの開発 **アイデア賞受賞**
2. 「地域の高齢者の協力で創る」食事もできる放課後寺子屋事業
3. 通学児童の見守りを通じた世代間交流の実現と表彰制度の確立
4. Road To Success (地域内交通の最適化)
5. Ubestagramerによる地域の魅力発信

アイデアの実用例

障害者や赤ちゃん連れなど、利用者に適したトイレを**一発検索**。

山口大学工学部の**学生を中心**に、地元企業等が連携しアプリ開発。

多目的トイレデータについては、行政と学生が連携して調査・整理し、**オープンデータ化**。



▲アプリイメージ



▲トイレ調査

学生の卒業と同時に活動が**停滞**。

チャレンジ！！オープンガバナンス2018

地域 課題

「第四次宇部市総合計画 後期実行計画」の5つのまちづくりのテーマの実現
 ※5つのまちづくりのテーマ
 「産業強化」「子育て支援」「健康づくり」「にぎわい創出」「防災」など

応募 アイデア

1. 地域伝統芸能文化の復活 若者が文化財に触れる機会を増やすアプリ開発
2. 広域連携とポイントシステムによる地域コミュニティ強化
3. ときわ公園のユーザー参加型ルート案内アプリによる魅力、満足度の向上
4. 宇部！ICTで夢いっぱい腹いっぱい計画

アイデアの実用例

伝統芸能文化財「岩戸神楽舞」の復興をめざす地域による復興委員会に**高校生**が参加。

「アプリ開発」「衣装作成」「ラインスタンプ作成」など様々な形で**地域と連携**しながら、復興に向けて活動。

令和2年12月5日、**完全復興**として、万倉ふれあいセンターにて奉納を実施。地域を中心に活動を継続中。



▲伝統芸能文化財「岩戸神楽舞」



▲衣装製作への協力

チャレンジ！！オープンガバナンス2019

地域 課題

宇部市の持続的な発展につながるアイデア

※主な地域課題例

「観光産業」「SDG s 教育」「若者・女性活躍」「子どもの貧困対策」など

応募 アイデア

1. 障がいのある人も暮らしやすい町に 学校、企業の積極的参加による地域文化の醸成
2. 地域食堂OHANAの開催 地域・人とのつながり

チャレンジ！！オープンガバナンス2020

地域 課題

コロナ危機を乗り越え、宇部市を明るい未来へと導くアイデア

※主な地域課題例

「新しい生活様式を確実に実践できるアイデア」など

応募 アイデア

1. 手軽なハンドサイン注文を通して、モバイルオーダーなどの導入促進
2. コミュニケーション支援アプリ「うべこみゆ」開発と運用
3. 防災コンテンツを搭載したインタラクティブサイネージで防災意識の啓発
4. 飲食店のコロナ対策をランク付けし、コロナへの対策意識などを向上

▶ 学生を中心に継続参加

学校法人YIC学院
情報ビジネス専門学校

COG2017より継続参加

授業のカリキュラムの一環としての取組

宇部フロンティア大学附属
香川高等学校 生活デザイン科

COG2018より継続参加

パソコン部の活動としての取組

▶ 取組における課題

動機付けや課題意識の醸成

アイデアをまとめても実現化まで
至らない

学生の卒業と同時に活動が停滞

今年度の取組状況 ※YIC学院の場合

- ▶ 課題設定から、学生の意見を
取り入れながら設定
- ▶ 2年生⇒1年生の授業に変更し、**2年間**
の取組へと変更
- ▶ アイデアの生成過程において、
民間事業者の協力を検討

今後の取組みについて

▶ デジタル人材の育成との連携



デジタル人材の育成に向け、プログラミングなど様々な講座を開催

COGの取組と連携し、自ら課題を発見し、
デジタルを活用した課題解決へ



多様な主体が目標設定の段階から連携し、課題を共有し、
様々な意見を出し合いながら、課題解決に向けて取り組んでいく
「共創」によるまちづくりの実現へ